

製品名: STAT5B マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80867**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	STAT5B
別名	STAT5; STAT5B
遺伝子 ID	6777.0
SwissProt ID	P51692
免疫原	大腸菌で発現したヒト STAT5B の精製された組み換え断片。

背景

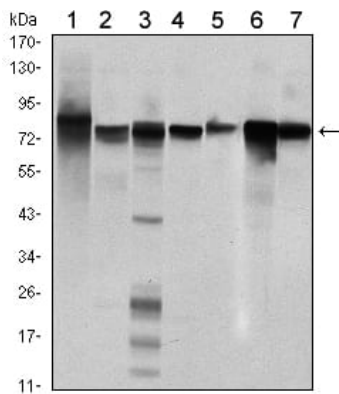
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、転写因子 STAT ファミリーのメンバーです。サイトカインや成長因子に反応して、STAT ファミリーのメンバーは受容体関連キナーゼによってリン酸化され、その後ホモ二量体またはヘテロ二量体を形成して細胞

核に移行し、そこで転写活性化因子として機能します。このタンパク質は、IL2、IL4、CSF1、様々な成長ホルモンなど、様々な細胞リガンドによって引き起こされるシグナル伝達を媒介します。TCRシグナル伝達、アポトーシス、成人乳腺の発達、肝臓遺伝子発現の性的二型など、多様な生物学的プロセスに関与することが示されている。この遺伝子は、急性前骨髄球性白血病（APLL）の少数のサブセットにおいて、レチノイン酸受容体 α (RARA) 遺伝子と融合することが判明しました。このタンパク質を介したシグナル伝達経路の調節不全が、APLLの原因である可能性があります。

研究分野

Jak-STATシグナル伝達経路

画像データ



Hela (1)、K562 (2)、NIH/3T3 (3)、C6 (4)、HEK293 (5)、Jurkat (6)、HL-60 (7) 細胞溶解物に対するSTAT5BマウスmAbを用いたウエスタンブロット解析。